

国語（現代の国語）

履 修 単 位	3 単位	学 年	2 年
学 科 コ ー ス	商業科	区 分	必修 ・ 選択
使 用 教 科 書	高等学校 新編現代の国語（第一学習社）		
副 教 材 等	常用漢字ダブルクリア 四訂版（尚文出版）		

1. 科目を通した学習内容と学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。
--

2. 授業を受けるにあたってのアドバイス

・授業の最初に毎時間、漢字の小テストを行います。小テストは必ず予習をして挑みましょう。自分の知識を積み重ねることや学習の習慣を身に付けることにつながります。 ・(予習)授業を受ける前は、毎時間、教科書を読んでおきましょう。音読をすることで苦手な漢字や分からない語句がでてきます。その都度マークをしながら辞書などを用いて調べ、ノートに記述しておくこと、授業にスムーズに入ることができます。 (復習)授業を受けた後、分からなかったり気づいたりしたことはノートに再度、記述しておきましょう。そして次回、必ず質問などをして聞き、分からないままにしないでおくことが大切です。授業の中で気づいたこと(感動したこと)は、さらに自分の知識を深めることができる大切なポイントです。インターネットや図書館などを用いて、関連する論文や書籍を読む（インプット）とともに、自分で調べたものをクラスの仲間や先生に伝えること（アウトプット）も自身の理解を深めるうえでとても大切です。 ・日頃から読書をする習慣を身に付けましょう。さまざまな本を読むことで、自分の考えや思いを広げたり深めたりすることができます。

3. 科目を通した評価の観点と評価方法

観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」，「書くこと」，「読むこと」の各領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり，ものの見方，感じ方，考え方を深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，読書に親しむことで自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評 価 方 法	授業態度 発問評価 学習課題集の提出 定期考査	指名音読 話し合い 調査とまとめ 発表・報告	リフレクションシート ポートフォリオ
上に示す観点に基づいて，学習のまとまり（単元）ごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。			

4. 年間を通した学習計画

（より詳細な「学習内容・ねらい」・「評価の観点・評価方法」等については，各単元の最初の授業等で説明します。）

学期	単元の学習内容	単元の学習目標（ねらい）	単元の評価規準	主な評価の観点			備考
				知技	思判表	態度	
1	「未知」はいくらでもある （宮内悠介）	実体験をふまえて提示された「未知」に対する筆者の捉え方を理解し，自分に照らして考えを深める。	内容や構成，論理の展開を的確に捉え，要旨を把握する。		○		
			文章に含まれている情報を相互に関係づけながら，内容を解釈する。		○		
			自分の考えや事柄が的確に伝わるように，根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。		○		
			世界の捉え方について述べた文章を読み，自分の意見や考え方を論述する。		○		
			話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。	○			
			常用漢字を文や文章の中で活用する。	○			
			語句の量を増やし，語彙を豊かにする。	○			
			例示などの修辞を理解する。	○			
			主張と論拠，個別と一般化など，情報と情報との関係を理解する。	○			
			粘り強く段落と段落の関係を押さえ，学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。			○	
			本文を粘り強く読み，個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。			○	
			積極的に自分の体験から適切な題材を決め，文章にまとめようとしている。			○	
			話し言葉と書き言葉の特徴を積極的に理解し，会話を地の文で表現した効果について発表しようとしている。			○	
	言語としてのピクトグラム （本田弘之）	ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し，言語表現の多様性について考えを深める。	内容や構成，論理の展開を的確に捉え，要旨を把握する。		○		
			文章に含まれている情報を相互に関係づけながら，内容を解釈する。		○		
			自分の考えや事柄が的確に伝わるように，根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。		○		
			日本のピクトグラム揭示の特徴について述べた文章を読み，自分の意見や考えを論述する。		○		
			調べたことを整理して，説明資料にまとめる。		○		
			言葉には，認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。	○			
			常用漢字を文や文章の中で活用する。	○			
			語句の量を増やし，語彙を豊かにする。	○			
			例示などの修辞を理解する。	○			
			主張と論拠，個別と一般化など，情報と情報との関係を理解する。			○	
			積極的に写真を伴う文章を読み，解釈したことをまとめて発表しようとしている。			○	
			学習課題に沿ってピクトグラムの問題点や修正案を考え，積極的に発表しようとしている。			○	
	臆病な詩人、街へ出る（文月悠光）	他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ，自分自身を見つめ直す契機とする。	・他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身を見つめ直す契機とする。		○		
			・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。		○		
			・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。		○		
			・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。		○		
			・人生や生き方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。		○		
			・常用漢字を文や文章の中で活用する。	○			
			・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	○			
			・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。	○			

		・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。			○	
		・本文を粘り強く読み、個別の事例に対する「チョーさん」の論理との関係を理解しようとしている。			○	
		・本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の体験や考えを書こうとしている。			○	
図書委員会のポスターの掲示内容を検討する	与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用する。	・与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用する。		○		
		・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。		○		
		・異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことをまとめる。		○		
		・事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する方法を学ぶ。		○		
		・読み手からの助言などを踏まえて、目的に応じて書かれているかを確認かめ、書き直す手順を学ぶ。		○		
		・異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。			○	
		・複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、文章の構成に注意してまとめようとしている。			○	
話し方の工夫	話して伝える	・目的や場に応じて適切な話題を決め、情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する方法を学ぶ。		○		
		・自分の考えが的確に伝わるように、自分の立場や考えを明確にするとともに、文章の構成や展開を工夫する方法を学ぶ。		○		
		・資料や機器を効果的に用いるなど、相手の理解を得られるように表現を工夫する方法を学ぶ。		○		
		・話を聞いて内容や構成、論理の展開、表現のしかたを評価する方法を学ぶ。		○		
		・話し合いのしかたや結論の出し方を工夫する方法を学ぶ。		○		
		・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解し、活用する。	○			
		・比喩、例示などの修辞や、直接的な述べ方と婉曲的な述べ方について理解し、活用する。	○			
		・主張と論拠など、情報と情報との関係を理解する。	○			
		・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解し、活用する。	○			
		・引用のしかたや出典の示し方、必要性について理解し、実践する。	○			
		・状況に応じた話し方の工夫が、今後の生活にどう生きるか考え、振り返ることができる。			○	
待遇表現	・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 ・敬語表現が選択される視点を理解する。 ・相手や場に応じた表現が選択できるようになる。	・敬語表現の効果について自分の考えを説明できる。		○		
		・不適切な表現を指摘し、敬語表現に改めることができる。		○		
		・敬語表現を用いない場合の印象や影響について、敬語表現を用いた場合の効果について自分の考えを述べることができる。		○		
		・敬語表現を選択する視点について理解し、相手や場に応じた表現を選択する。また、選択した理由について説明できる。		○		
		・公的な立場や場面を設定することができる。		○		
		・敬語表現の使用について、相手や場、目的に応じて使い分けることの効果や必要性について説明できる。		○		
		・敬語の種類や用法について説明できる。	○			
		・敬語表現の効果や敬語表現を選択する視点を理解している。	○			
		・これまでの自分自身の敬語表現の使い方を振り返り、新しい知識のもとに表現を工夫しようとする態度が見られる。			○	

2	人はなぜ仕事をするのか（内田樹）	本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。	・本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。		○		
			・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。		○		
			・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。		○		
			・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。		○		
			・筆者の仕事観について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。		○		
			・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。	○			
			・常用漢字を文や文章の中で活用する。	○			
			・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	○			
			・例示などの修辞を理解する。	○			
			・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。	○			
			・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。			○	
			・積極的に比喻や例示の効果を理解し、読み取ったことを説明しようとしている。			○	
			・積極的に話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、話し言葉を挿入した効果について説明しようとしている。			○	
			・本文を読んで働くことに対する考えが深まったかどうかを進んで振り返り、根拠をあげて説明しようとしている。			○	
	イースター島になぜ森がないのか	イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。	・本文中の要点や意見の中心となる文に着目することができている。		○		
			・イースター島について、花粉分析や考古学が明らかにしたことを理解している。		○		
			・イースター島の文明が繁栄した理由を理解している。		○		
			・イースター島から森が消えたのは人間による直接の破壊と、外来生物のラットが原因であることを理解し、外来生物が生態系に与える影響を認識できている。		○		
			・「イースター島の教訓」とは何かを理解している。		○		
			・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。		○		
			・「生態系」や生態系保全の必要性について理解している。	○			
			・本文中に出てくる漢字や熟語の意味を理解している。	○			
			・「持続可能性という倫理を支える文化」とは何かを理解し、班の話し合いに積極的に取り組んでいる。また他の班の発表にも耳を傾け、参考になる点などについてワークシート記入をしている。			○	
			・「持続可能性」について理解を深めている。自分の意見を論理的にまとめることができ、積極的に発表に取り組んでいる。			○	
			・リフレクションシートに主体的に取り組んでいる。			○	
	「間」の感覚（高階秀爾）	文章に含まれている情報を交互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することを学ぶ。	・対比の情報と情報との関係について概要を理解している。		○		
			・対比をもとに、本文の構造について、適切な箇所を引用し把握することができる。		○		
			・指示語を手がかりに、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、筆者の意図を解釈し、自分の考えを深めている。		○		
			・情報を交互に関連づけながら、段落と段落との関係や論理の展開を把握し、考えを深めている。		○		
			・内容や構成に注意して、要旨を正確に把握できている。また、把握した要旨が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫できている。		○		

			・ 叙述をもとに論理の展開を的確に捉え，筆者の意図を解釈することで，自分の考えを深めている。		☐		
			・ 主張と具体例，対比(二項対立)など情報と情報の関係を抑えることが評論の読解において重要であることを理解している。	☐			
			・ 対比という情報と情報との関係について概要を理解している。	☐			
			・ 漢字の読みや語句の意味を理解している。	☐			
			・ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。	☐			
			・ 推論のしかたを理解し，使うことができている。	☐			
			・ 語彙力を高めようと努力している。	☐			
			・ 本文の叙述をもとに，文章の構成を的確に捉え，論理の展開を把握しようと主体的に活動している。			☐	
			・ 学習への取り組みを客観的に振り返り，次の行動へつなげることができている。			☐	
	情報の探索と選択	・ 必要な情報を探す方法を理解する。 ・ 情報の信頼性や妥当性の吟味のしかたを理解する。 ・ 情報の探索と選択を実践できるようになる。	・ 必要な情報を探す方法とその特徴を理解している。 ・ 情報の信頼性や妥当性の吟味のしかたを理解している。 ・ 情報収集の場面を想定し，これから学ぶことが社会生活に生きる知識となる実感を持つことができている。 ・ 学んだ内容が自分たちの生活にどのように生きるか，具体的に振り返りを行うことができている。		☐		
				☐			
	情報源の明示	・ 引用の目的とその効用を理解する。 ・ 引用の具体的な方法を理解する。 ・ 引用を適切に活用できるようになる。	・ 引用の目的について，自分の考えを述べるができる。 ・ 引用の目的や方法について，理解している。 ・ 引用の目的について理解したうえで判断し，理由を添えて自分の意見を説明できる。 ・ 引用とは何かを理解している。 ・ 引用の目的と適切な方法について理解している。 ・ 引用の目的を理解し，効果的な使用場面について考えを持つことができている。		☐		
					☐		
					☐		
				☐			
				☐			
						☐	
3	スピーチで自分を伝える	自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し，実践する。他の人のスピーチを聞き取り，評価する方法を学ぶ。	・ 自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し，実践する。 ・ 他の人のスピーチを聞き取り，評価する方法を学ぶ。 ・ 進んで材料を集めたり吟味したりし，今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 ・ 進んで表現や話し方を工夫し，今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・ 積極的にスピーチを聞き，評価シートを活用して評価しようとしている。	☐			
				☐			
						☐	
						☐	
						☐	
	理想の修学旅行をプレゼンする	情報の大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し，実践する。効果的なスライドの作り方を理解する。	・ 情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し，実践する。 ・ 効果的なスライドの作り方を理解し，効果を考えながら，スライドのデザインについて検討・作成することができている。 ・ 今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し，積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。 ・ 進んで表現や話し方を工夫し，今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・ 協働して資料や機器を用い，相手の理解を得られる工夫をしようとしている。 ・ 積極的にプレゼンテーションを聞き，評価の観点に沿って評価しようとしている。		☐		
				☐	☐		
					☐	☐	
						☐	
						☐	

	書き方の基礎レッスン	・表記，表現の基本ルールを理解する。	・語感を磨き，和語・漢語・外来語の違いが与える印象について理解を深めている。		○		
		・接続表現の種類や用法を理解する。	・比喻・擬声語・擬態語・倒置法・体言止めが与える印象について理解を深めている。		○		
		・比喻などの表現技法を理解する。	・書き方の基礎を学ぶ必要性について理解を深めている。		○		
			・書き言葉で避けたい表現について理解している。	○			
			・敬体と常体の文体の違いを理解し，使い分けができる。	○			
			・語と語，文と文の接続のしかたや接続表現を理解している。	○			
			・表現の基本ルールや接続表現，表現技法などを理解している。	○			
			・書き方の基礎の習得に主体的に取り組んでいる。			○	
	地域の魅力を紹介する	・情報を的確に紹介する方法を理解する。	・情報を的確に紹介する方法やその目的，必要性を理解している。		○		
		・必要な情報や資料を収集・整理し，わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解する。	・相手と目的に応じて，必要な情報や資料を収集・整理し，わかりやすい紹介文を書くために活用する方法を理解している。		○		
			・教科書の例を参考に，説明や表現のしかたを工夫して，積極的に紹介文を書こうとしている。		○	○	
			・書いた紹介文を進んで批評し合い，批評をふまえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。		○	○	
			・目的に応じて題材を決め，集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。			○	
			・他者の書いた紹介文の評価を適切に行い，また，他者からの評価を真摯に受け止めることができている。			○	